



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 6 号
令和元年度 10月2日
練馬区立上石神井小学校
校長 井口 洋

「思いやり 助け合うことを大切に」

校長 井口 洋

9月28日(土)に実施しました令和元年度運動会には、多くの保護者や地域の皆様に、励ましの声援や温かい拍手をたくさんいただきありがとうございました。夏休み明けから、運動会の練習が徐々に始まり、9月5日(木)の6年生の連合水泳記録会が終わると、学校全体が運動会一色になりました。今年の運動会のスローガンは、『令和初！ 紅白ともに 正々堂々戦い 勝利をつかめ』でした。スローガンの下、子供たち一人一人が、そして教職員も全力で取り組むことが出来ました。

上記の標題は、6年生の表現「組体操～GO for it!～」の演技中の6年生児童の言葉です。6年生は小学校最後の運動会に思いを込め、最高学年の自覚をもち、当日の演技や競技の他に運動会の係活動も大変頑張っていました。6年生が一生懸命頑張れば、当然のように、5年生以下のどの学年の児童も、自分の力を、全力で発揮していました。大変素晴らしい姿でした。応援団の言葉にあった、「力を合わせて」「心を一つに」をまさに実現した運動会でした。



保護者の皆様、地域の皆様の御理解、御協力があったって実施できた運動会です。今回の運動会についてお気付きの点についてはぜひ、アンケート等で御連絡いただきたいと願っています。今後、さらによりよい運動会そして教育活動を行う参考にさせていただきます。

また、東京都では、2020年までの東京都の体力向上の取組として、10月は「東京都体力向上努力月間！」となっています。体力を高める基礎・基本として、「栄養・運動・休養」「基本的生活習慣」「アクティブライフの実践」が重要です。

「栄養・運動・休養」…生きるために欠かせない健康三原則

「基本的生活習慣」…栄養・運動・休養の生活のリズムを整えること

「アクティブライフの実践」…日常生活で積極的に体を動かすなど、活動的な生活を送ること

ぜひ、御家庭でも体力向上に向けた取組を実践していただきたいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、これからも御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

10月行事予定

- 1 (火) 都民の日 (休業日)
- 7 (月) クラブ
- 8 (火) たてわり給食・遊び 堆肥作り(4年)
- 9 (水) 堆肥作り(4年)
- 10 (木) 避難訓練 起震車体験(4年)
- 12 (土) 学校公開【4時間】防災教室(6年)
おもちゃまつり(1,2年)
- 14 (月) 体育の日
- 15 (火) 遠足(1年) 堆肥作り(4年)
- 16 (水) 4時間授業 12時45分下校
堆肥作り(4年)
- 17 (木) 畑見学(3年)
- 18 (金) 理科見学(4年)
1年2組以外4時間授業

- 21 (月) 委員会(11月分後期)
給食費・教材費引き落とし
- 22 (火) 即位礼正殿の儀
- 23 (水) 堆肥作り(4年)
- 24 (木) 連合音楽会前朝会発表(5年)
2年4組以外4時間授業
トップアスリート来校
- 25 (金) 遠足予備日(1年)
- 28 (月) クラブ
- 29 (火) 自転車安全教室(4年) 連合音楽会(5年)
- 30 (水) 堆肥作り(4年)
- 31 (木) 脱穀体験(5年)

11月行事予定

- 1 (金) 開校記念日(休業日)
- 4 (月) 振替休日

リトルティーチャーの実践報告（第1回）

練馬区では小中一貫教育を区内の小中学校全校で実施しています。近隣の小学校と中学校が協力してそれぞれの課題や問題に取り組み、児童・生徒の力を伸ばせるように指導に当たっています。小中一貫教育として、次のことをめざしています。

- ①授業改善による学力・体力の向上（学習意欲の向上）
- ②連携指導による豊かな人間性・社会性の育成（自己肯定感の高まり）
- ③滑らかな接続による安定した学校生活（不登校の減少）

上小と上中との連携は10年以上前から始まりました。2校の距離が道路を挟んですぐであるということもあり、とても深い関わりが生まれるまでになりました。私たち職員の願いは、小学校から中学校までの9年間の生活を充実したものにすることです。また、地域の皆さんの温かい見守りなどの御協力と御支援によって、子供たちは元気に、そして素直に育ってくれています。

今年度も小中一貫教育の取り組みとして、1回目のリトルティーチャーを行いました。リトルティーチャーは年に2回行われ、小学生と中学生が直接関わり合う貴重な活動です。7月は中学2年生が先生役となって本校の全学年の教室に入り、小学生とそれぞれの学習課題に取り組みました。

1・2年生は図工で『パラシュートをつくろう』、3年生は音楽で『リコーダーとなかよく』、4年生は『英語に親しもう』、5年生は『やってみよう、ボタン付け』、6年生は『今までの学習を生かして、英文を書こう』という内容でした。

子供たちの感想は「学習した内容がよく分かった。」「中学生の教え方がとても優しかった。」「できなかったことが、できるようになった。」などの感想をもちました。

中学生を見つめるキラキラした瞳、同じ目線で話す一生懸命な姿があちこちで見られたリトルティーチャーでした。今後は上中見学会（6年生）や小中合同あいさつ運動等で連携をしていきます。

（小中連携クリエイター 堀川 洋）

事務室から

校内を歩いていると「何の先生ですか。」「誰のお母さん？」「(どこかで?)なんか見たことある人！」などと話しかけられます。事務員は普段、児童の皆さんと直接関わることが少ないのでどこの誰だろうと思われているようです。

事務室には主に事務員2名、栄養士1名がいます。事務員の仕事は、児童の皆さんがよく使っているもの...例えばつくえやいす、学習道具、掃除するためのほうきやちりとり、休み時間に使うボールなどを管理しています。この学校だよりの紙やそれを届けるために印刷する機械もそうです。

「へえ～そうなんだ～」って思ってくれましたか。児童の皆さんが安心安全に通える学校づくりを目指して“どこかでなんか見たことある人たち”が働いています。

さて、事務室は学校のどこにあるでしょうか。

10月の生活目標 進んで仕事をしよう

連合水泳記録会や運動会など、様々な行事を通じて子供たちは『お互いに声をかけ合い、助け合い、協力し合って活動できた』という充足感や満足感を得ることができました。これらの経験を生かして、普段の生活でも進んで仕事に取り組みせたいと考えています。学級の中での給食当番や掃除当番、係活動など、自分のやるべき仕事を責任をもって取り組む。高学年はさらに委員会活動や行事にかかわる仕事なども責任をもって行う。このことによって、人の役に立つ喜びを体験させていただきます。御家庭でも子供たちが進んで仕事に取り組めるようにお声掛けをお願いします。